

IKUBUN NEWS

第14号 2011.8.1

おやこひろば たかたん はじまりました！！



平成23年6月2日(木)より、地域開放事業「おやこひろば たかたん」をスタートしました。

親子のみなさん、ひろばスタッフ・センター研究員・教職員・学生など、たくさんの人たちがかわり、



おおき〜いお絵かきボード



ひろばのお手伝い学生です。



あたらしいママ友、できたかな？

オープンの日、たくさんの親子の方々に来校していただきました。

平日の大学に子どもたちの姿、笑顔、時には泣き声が響き渡り、高短キャンパスに新しい風が吹いた1日でした。



ふれあいあそびでキュッ！



初日、学長より親子のみなさまにごあいさつ

- 参加対象：未就学児とその保護者
- 開催日時：毎週月・木曜日 10:00～12:00
- * 各月の開催日は、「おやこひろばたかたん」HPで随時、確認ください。
- 会場：高田短期大学内 育児文化室（1号館2F）
- 駐車場：有（40台程度）
- ♪ 気軽にあそびにきてください。お待ちしております。♪

<おやこひろば たかたん> 開設にあたって

育児文化研究センター事業として、地域子育て家庭の子育て支援に寄与するため、「おやこひろば たかたん」を開設いたしました。「親や子どもがまわりとつながるためのひろば」をコンセプトに親子の交流・活動の場の提供、子育て講座、子育て相談などをひろばの専属スタッフ（保育士資格保有）、センター研究員のほか教員、学生がかかわ



り行っていきます。また、教育・研究機関での取組みとして研究のフィールド、学生の学びの場とも位置付けています。ひろばでの取組みに関する研究の成果を地域子育て支援活動に還元したり、学生が実際の親子にかかわる経験を保育力、子育て支援力育成に活かしたりしていきます。さらに、地域子育て支援活動の拠点、および地域の子育て支援にかかわる支援者の育成をも展望し、取り組んでいきます。

☆ ひろばスタッフから ☆

笠原美穂（写真左）

高田短大卒業後、保育園に勤務し、その後結婚、3人の子育てをしています。ひろばでは、子どもたちからパワーをもらいつつ、お母さん方と年齢を越えておしゃべりできることを楽しみにしています。

小倉知子

2人の子の母親で子育て20年目になります。まだまだ、悩みも不安も存在しています。けれども、悩みながらも子育てを楽しむ一人として、ひろばに参加してくださる親子のみなさんとともに成長していきたい、一人の女性として母親としてともに歩んでいきたいと思っています。



6月・7月のひろば

毎回、多くの親子のみなさんに利用いただきました。回を重ねるごとにスタッフとみなさんはもちろん、お母さん方同士も自然に声をかけあい、少しずつひろばを介してのつながりが生まれてきました。学生もボランティアとして準備や受付にがんばりました。シール帳のデザインや壁面飾りをしたり、七夕飾りの製作準備等もしました。授業の一環でふれあいあそびや手・指あそびも実践し、子どもたちの反応を目の当たりにすることができました。

スタッフ間の最近の合言葉は「親子のみなさんとともにひろばもスタッフも育っていこう」です。まだまだ、ひろばづくりに試行錯誤、笑いあり涙ありの日々ですが、「たかたん」らしいひろば、「また行きたい」と思っていただけひろばづくりをめざします。

センター研究員による子育て講座を次の通り行いました。

◇ 6/27 「親子ふれあいあそびと絵本の読み聞かせ」 講師：廣瀬玲子客員研究員

「だるまさんが」という絵本の読み聞かせや「ちょちょちあわわ」などのふれあいあそび、親子であそぶためのお話がありました。たくさんのお話を楽しみ、教えてもらいました。

◇ 7/14 「ママとパパのぐちぐちボックス」 講師：橋本景子研究員

ひろばの一角を「ぐちぐちボックス」とし、橋本研究員が常駐。

普段、なかなか口にだせないことを話にくる、という内容。

聞いてもらう、少しこれからのヒントを覚えてもらうことで、

なんだかスッキリしてもらったようです。



ひろばキャラクターの「たんたん」です。 よろしくね！

「でんしゃはたくさんの人を乗せて走っていく。たくさんの人との出会いなどをつなげていくすてきなでんしゃ」がコンセプト。

生みの親は、あそび作家・イラストレーターで活躍中の浦中こういち氏です。

本学の卒業生でもあります。

高田短期大学育児文化研究センター 平成 23 年度事業計画

<平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月>

1. 前期センター会議 5 月 11 日 (水) 16:30～18:00

- 1) H22 年度事業報告
- 2) H23 事業計画
- 3) センターミーティング～子育て支援に関する意見・情報交換ミーティング～
地域開放事業「おやこひろば たかたん」実施にあたって

* 話題提供者： 井澤淑子 (センター客員研究員/子育て支援研究会代表)
笠原美穂・小倉知子 (センター運営スタッフ)

センター
ミーティングの
様子です。



2. 地域開放事業「おやこひろば たかたん」

3. 地域連携子育て支援事業「元気っ津まつり 2011」

開催日時：平成 23 年 10 月 30 日 (日) 会場：津リージョンプラザ・お城西公園

4. 育児文化研究促進事業 研究員・客員研究員によるグループ研究を助成します。

5. 紀要「高田短期大学育児文化研究」第 7 号 (H24. 3 月発行)

6. 定例研究会 (年 3 回)

第 1 回：7 月 6 日 (水) 前畑みち代研究員「親も子も育つ支援を目指して-地域での子育て支援から-」

第 2 回：11 月 9 日 (水) グループ研究会報告「三重県の子育て支援の現状と課題」(仮)

第 3 回：2 月 1 日 (水) グループ研究会報告「おやこひろば たかたん」について (仮)

7. 育児文化研究センターだより「IKUBUN NEWS」

年 2 回発行 (8 月・3 月)、育児文化研究センターの最新情報を発信しています。

8. 仏教文化研究センター連携事業「仏典童話人形劇」出前公演

9. 子育て応援隊 地域の要請に応じて随時学生派遣

10. ホームページ 「育児文化研究センター」「おやこひろば たかたん」HP。 「お知らせ」・「活動内容」などを随時掲載

11. 後期センター会議 平成 23 年 12 月 7 日 (水) (予定)



定例研究会

平成 23 年度、第 30 回 (7/6) の定例研究会の報告です。

テーマ：親も子も育つ支援を目指して —地域での子育て支援から—

提案者：前畑みち代客員研究員



前畑研究員が長年行われてきた子育て支援についてご報告いただきました。

未就園児を対象とした子育て支援としてのひろばにはさまざまな形態がありますが、いずれも保護者と地域のボランティア、民生委員の方々に支えられて成り立っているのだということが良く分かりました。

子育てには親子の触れ合いが大変重要であり、その触れ合いを通じて子どもを豊かに育て、育てることによって大人も育つということを教えていただきました。

また、特に現在では核家族化などの影響から、子育て支援だけでなく親の育ちも支援していく必要があることなどに気づかされました。

新入会研究員の紹介

柳瀬慶子 研究員（新入会）



4月より、子ども学科に着任し「幼児体育」「身体表現指導法」などの授業を担当させていただいております。近年、子どもの体力低下が言われていますが、「体力」とはより速く・より遠く・より高く運動できる力や数値で測れる能力だけではなく、他者（仲間やモノ）とかかわって自分のからだ（身体と心）のバランスを取ったりタイミングを合わせたりする「他者とかかわる力」ではないかと考えています。このような「体力」は、親子のふれあいの中で生まれ、さらに園での集団生活の中で発展していくものと考えられます。子どもの豊かなからだ育てを目指し、育児文化研究センターの活動を通して地域貢献できるように努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

井澤淑子 客員研究員（新入会）



誰もがかかわる子育てとして子どもや子育て家庭が安心して暮らせる地域づくりのお手伝いが出来たらと願っています。

子育てについて学びあえるサークルの育成、居場所づくり、ひろばづくりを行っています。ノーバディズ・パーフェクトのテキストに「完璧な人はいません。完璧な親もいなければ、完璧な子どももいないのです。私たちに出来ることは最善をつくすことであり、時には助けをもらうことも必要なのです。」とあります。出来るだけ多くの方と相互に協力しながら、子どもたちの成長を見守っていただけたらと思い、各自治体での人材育成と共に連携に向けてのネットワークづくりを図っています。

今後の事業予定

「子育てママの『ホッと』ひろば」を開催します。

センターでは地域のICTを利活用した子育て支援活動を行う「津市子育て支援システム地域運営協議会」に参画し、子育て支援相談事業を企画・担当しております。本年度も本学において下記の通り「子育てママの『ホッと』ひろば」を開催いたします。子育て中のママを対象に臨床心理士の資格を持つ橋本研究員のコーディネートにより、ゆったりとした雰囲気の中で悩みを相談できる場を提供しております。また、ひろば後も子育て仲間や地域との情報交換や情報発信を行うコミュニティサイトでの交流を通して子育てを支援していきます。

- ◇ 日時：8月26日(金) 午前の部…10:00～12:00 午後の部…14:00～16:00 (いずれか選択)
- ◇ 会場：高田短期大学
- ◇ 対象：子育て中の母親 (1人目のお子さんが未就学児であること)
- ◇ 参加費：500円 *託児有(子ども1人につき500円)

～参加をご希望の方は、<ikubun@takada-jc.ac.jp>までお問い合わせください。～

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学育児文化研究センター
住所 〒514-0115
三重県津市一身田豊野 195
Tel (059) 253-7020 (センター直通)
(059) 232-2310 (代表)
Fax (059) 232-6317
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



～編集後記～
おやこひろば たかたんも始まり、地域にとってのセンターのあり方を再検討していきたいと考えています。また、研究の成果を実践の場へフィードバックし、よりよい子育て支援を行えるよう、今後もさまざまな活動に力を入れていきます。
「協力よろしくお願いいたします。(K.T.)」